

手賀沼新聞

この新聞は手賀沼エコマラソンの助成により発行しました

美しい手賀沼を愛する市民の連合会(手賀沼流域の環境保全・まちづくりなどを目的として活動している24団体が手賀沼浄化をめざしてともに活動しています)

<http://www.biteren.com/>
〒270-1146

我孫子市高野山新田 193
手賀沼親水広場 気付

沼だからこそ育むことのできる
自然があります

いのち 生命ゆたかな手賀沼に



手賀沼でドブガイ類が多数生息していることが昨年の市民団体の調査でわかりました

手賀沼の水質

全国湖沼のワースト11位に

全国湖沼の汚濁度

順位	湖沼名	COD値
1	佐鳴湖(静岡)	11
2	伊豆沼(宮城)	9
3	八郎湖(秋田)	8.8
4	印旛沼(千葉)	8.6
5	北浦(茨城)	8.4
6	牛久沼(茨城)	8.3
7	霞ヶ浦(茨城)	8.2
8	常陸利根川(茨)	8.1
9	油ヶ淵(愛知)	8
10	長沼(宮城)	8
11	手賀沼	7.9

昨年度、手賀沼は全国湖沼水質ワースト順位で、初めて十一位になりました。平成十三年に、それまで二七年間もの間続いたワースト1の不名誉を返上してから初めて十位以下となりました。

5年あまり前まではダントツの全国ワースト1で、夏になるとアオコが腐った臭いがひどく、酸欠で死んだ魚が浮いていました。手賀沼のよごれは自分たちの生活排水が原因と気づいた住民たちの願いと努力とともに、下水道の整備などの対策が進み、北千葉導水事業で利根川の水を注入して流れを作ったことから、急速に水質の改善が進みました。



手賀沼のアオコ

*アオコ 沼に流れ込んだよごれを栄養にして、植物プランクトンが大発生し、水面がペンキを流したように緑色に覆われてしまう

いのち 生命のつぎわいをとりもつ

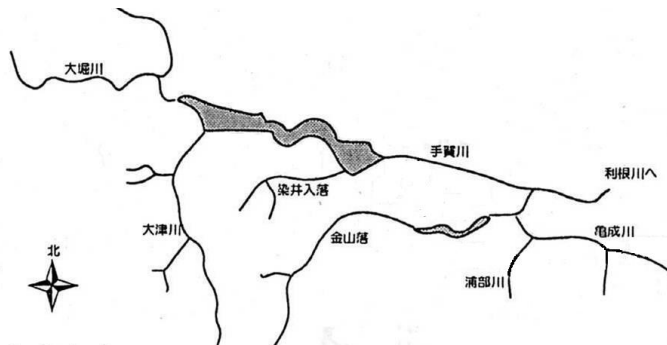
水質がよくなってきて、かつて沼で生きていた生きものたちが少しずつ復活してきました。ドブガイ類のような大型二枚貝も多数生息していることが判りました。ドブガイは、全国的にも減少が心配されている中で、県立中央博物館によると、千葉県では他に類をみないほどの生息密度だということです。水中のプランクトンや有機物を食べているので水質の改善にもつながります。

また、サケが手賀沼を通過して、一昨年は大堀川まで、昨年は大津川まで上ってきました。手賀沼に注ぐ川の水質も改善されてきて、クルマサヨリやマタナゴなども見られるようになりました。

一方で、手賀沼でも特定外来種は大きな脅威となっています。ブラックバス・ブルーギルなどが爆発的に増えることを危惧して、市民団体による調査・駆除活動が始まりました。その調査では、貴重な種の生息が確認され、生物に配慮した土木工事にも繋げることができています。

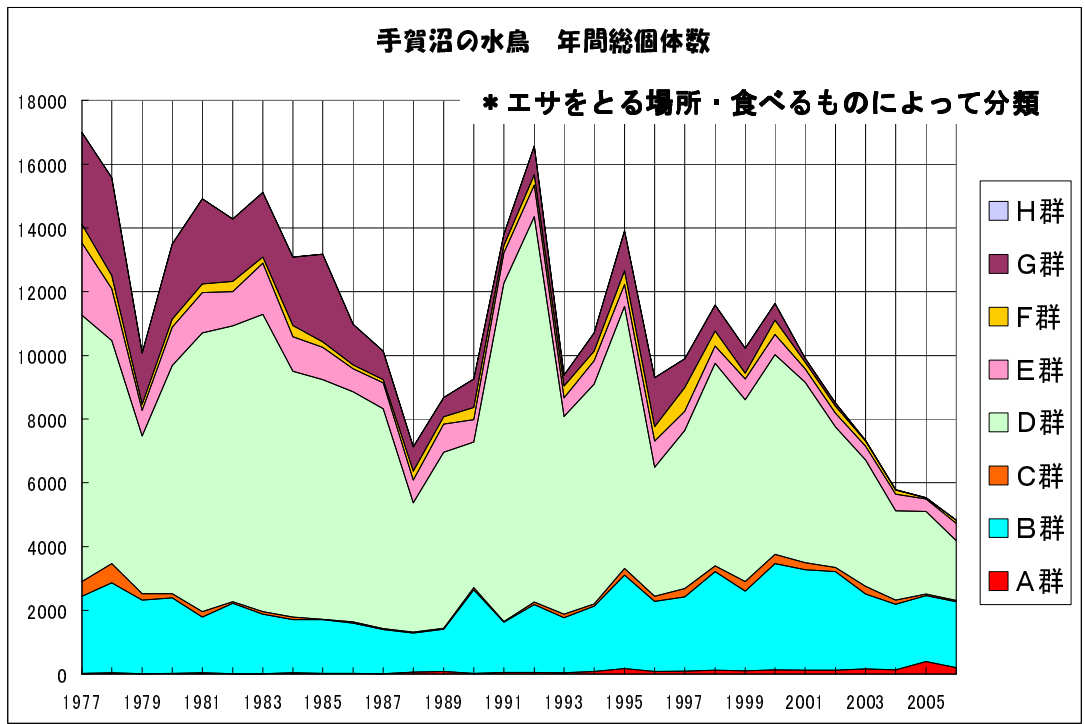
かつての手賀沼の生きもので、未だ復活できないのが、水草(沈水植物)です。昭和三十年代までは、田んぼや畑の肥料にするほどであったのが、水質の悪化とともに絶滅してしまいました。

今、市民団体と行政が協働して水草を再生する取り組みが行われています。かつてあった水草を流域の水路に植え、手賀沼へ拡がることを目指しています。



手賀沼で野鳥が暮らせなくなったのはなぜ

「我孫子野鳥を守る会の三十六年間の観察から」



H群: 林の縁の草や木の实
オシドリ



G群: 水面のプランクトン
ハシビロガモ



我孫子野鳥を守る会は、1972年に発足、1976年から毎月定例観察会を行ってきました。その貴重な観察記録から、手賀沼の野鳥の変化がわかります。

手賀沼でもっとも多く見られるのは、D群：水田の植物や小動物を食べるカルガモ・コガモ・マガモなどです。日中は手賀沼で遊び、夜は周辺の水田でエサをとります。これらのカモ類が急激に減っています。エサ場の水田が乾田化してしまっただけでなく、沿岸の遊歩道等が整備されたことや、沼の水質が整えられ、安心して住める場がなくなりました。

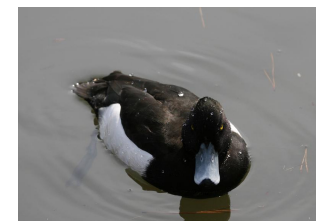
C群は水中の水草（沈水植物）やエビなどを食べる水鳥で、水質の悪化し沈水植物が消えるとともに激減しました。E群のオオバンなどのクイナ類はヨシ原が減ったのに伴ってこれも激減。B群の小魚を食べるカイツブリなども減少傾向にあります。

野鳥が安心して住むには豊かな水と緑の環境が必要です。それと周辺に暮らす私たちの生活や農業や漁業をどのように営み、自然と共生していくのかをこの調査結果が示しています。（データ提供：我孫子野鳥を守る会 <http://abikoyachou.org/>）

E群: ヨシ原の水草
クイナ オオバン



C群: 水中の水草やエビなど
海ガモ キンクロハジロ



A群: 水面の水草
ハクチョウ、淡水ガモ



F群: 水底の泥の有機物
オカシガモ



D群: 水田の草や小動物
サギ・淡水ガモ・シギ・チドリ
マガモ



B群: 小魚
カイツブリ・カワウ・サギ



みんなできれいな手賀沼に

定期的に清掃をしています

加盟団体は

河川を定期的に清掃

大堀川の水辺をきれいにする会は1997年に発足し、月1回の定例清掃を行うとともに、毎年春と秋にはおおぜいの市民が参加して大掃除を行っています。



大津川をきれいにする会は2004年から2ヶ月に1回定例清掃を行っています。



美しい手賀沼を愛する市民の連合会は2003年から統一クリーンティで

柏地区はふるさと公園と道の駅「しようなん」で集合し沼のゴミ拾いを行っています。我孫子地区は、市のふれあい清掃に合わせて集合し、独自にゴミの散乱がひどい所を清掃しています。



昨年度は印西市・白井市の行政・市民とともに手賀川河畔の清掃も行いました。



2008年度手賀沼統一クリーンティにご参加ください

12月7日(日)

柏市(ふるさと公園、沼南道の駅)、我孫子市(手賀沼公園)、印西市で同時開催

集合時間・場所など詳細はHPでご確認ください <http://www.biteren.com/>

*主催 美しい手賀沼を愛する市民の連合会 手賀沼水環境保全協議会

*問い合わせ 柏市：田口 04-7172-6129 我孫子市：手賀沼課 04-7185-1745 印西市：生活環境課 0476-42-5111



我孫子市第三小学校 米野太郎さん作